

2015年度 在学生アンケート 結果報告書【大学】

結果報告書目次

調査の概要	2
1. 回答者の所属学科	2
2. 回答者の性別	2
3. 回答者の学年	2
4. 本学に入学して良かったか	3
5. 諸活動の満足度について	3
6. 授業外の学習時間について	8
7. 学費・生活費、アルバイトについて	9
8. 留学について	10

調査の概要

本報告書は、2015年度大学在学学生アンケートの回答を集計したものである。このアンケートの調査目的は、在学学生の実態や意識を把握することであった。調査回答者は、2015年度京都外国語大学在学学生1,717名、調査時期は2015年3月30日、31日であった。なお、2012年度から2014年度の調査結果も合わせて示すこととする。各年度の回答者は、2012年度581名、2013年度140名、2014年度150名であった¹。以下に示す集計結果は、それぞれの回答への欠損値を省いたものである。

1. 回答者の所属学科

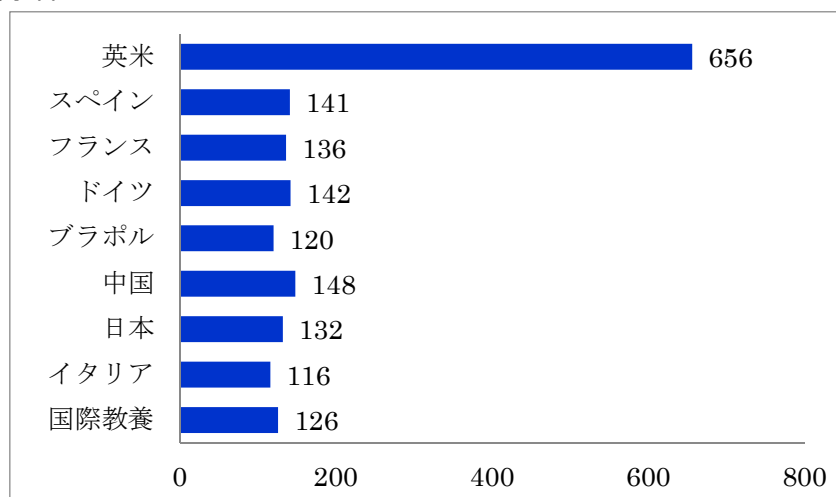


図1 2015年度の回答者の所属学科（人数）

2. 回答者の性別

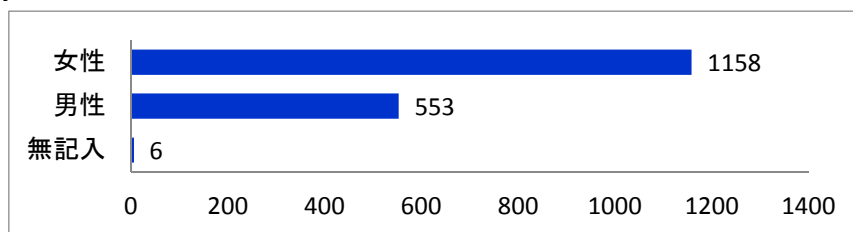


図2 2015年度の回答者の性別（人数）

3. 回答者の学年

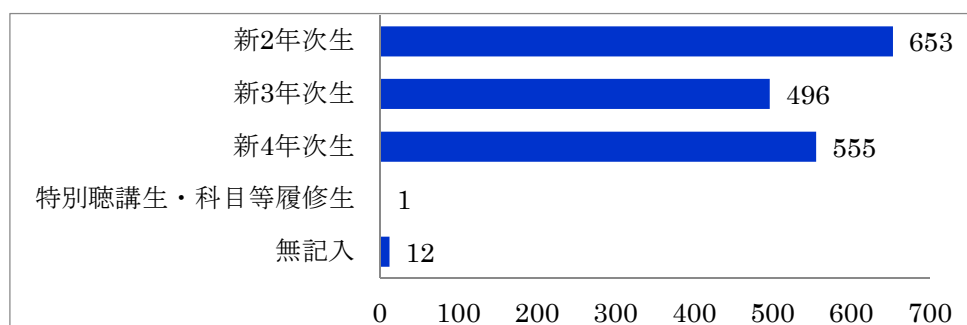


図3 2015年度の回答者の学年（人数）

¹ 昨年度までは回答者が少なく、回答が偏っている可能性があるため、年度による回答傾向の推移については検討しない。

4. 本学に入学して良かったか

図4から、7割以上の学生が本学に入学して良かったと思っていることが分かる。

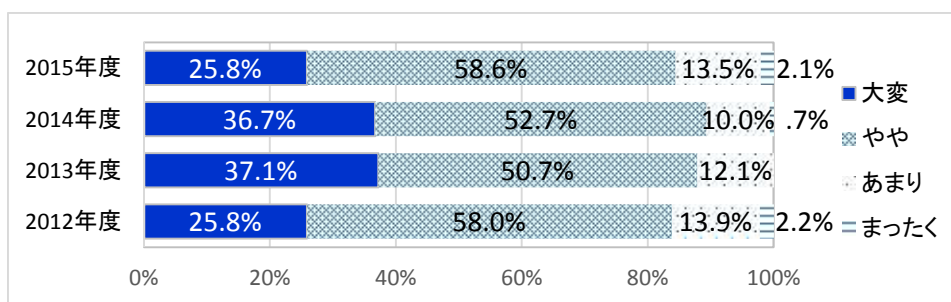


図4 年度別の「本学に入学して良かったか」の回答結果 (%)

5. 諸活動の満足度についての質問結果

ここでは、「授業のしかた」などといった20の内容に対する満足度の回答結果を示した。なお、本年度の調査から、新たに始まった「外国語自律学習支援室 NINJA の学習支援」、「次世代リーダー育成プログラムの活動」についての満足度を尋ねる項目を追加した。

まず、「大変満足している」「やや満足している」という肯定的な回答の割合が高かったのは、「図5. 1 授業のしかた」、「図5. 3 成績評価」であった。本学の授業のしかたや成績評価について満足している学生が多いことが分かる。一方で、「あまり満足していない」「まったく満足していない」という否定的な回答の割合が高かったのは、「図5. 6 外国人留学生との交流」であった。これらについては、満足度を高めるような取り組みについて考えていく必要がある。

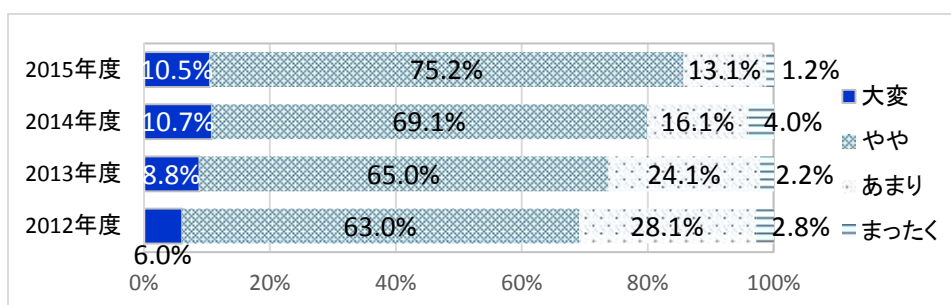


図5. 1 年度別の「授業のしかた」満足度 (%)

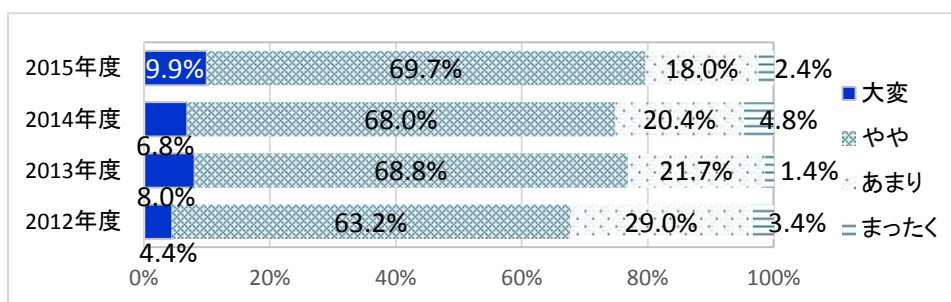


図5. 2 年度別の「カリキュラム」満足度 (%)

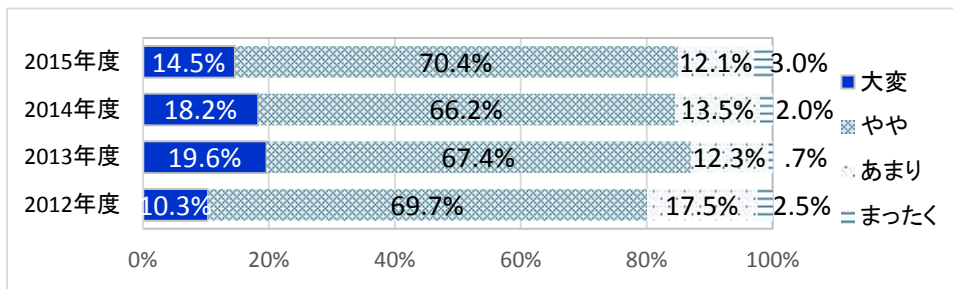


図 5. 3 年度別の「成績評価」満足度 (%)

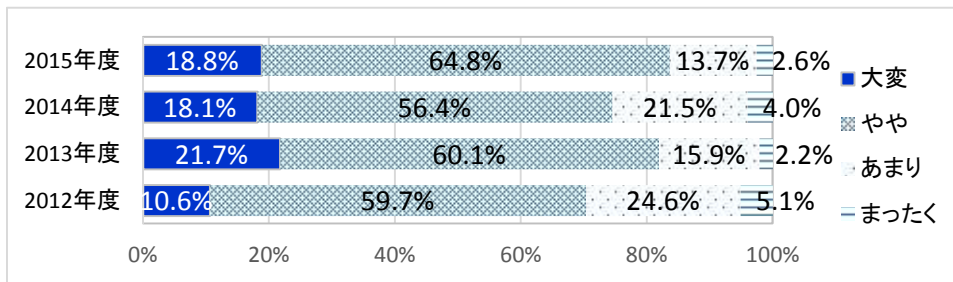


図 5. 4 年度別の「クラス担任制」満足度 (%)

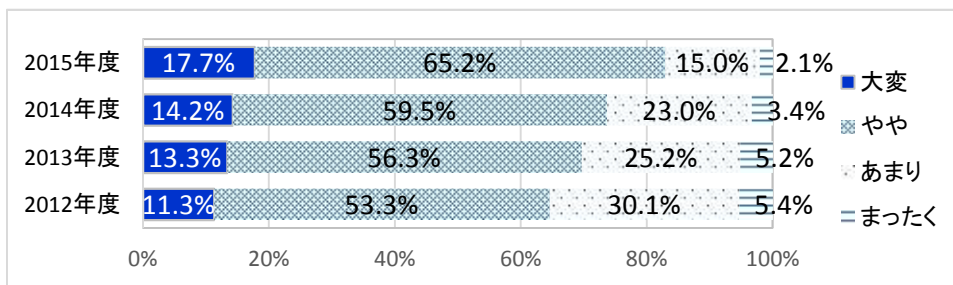


図 5. 5 年度別の「資格検定試験」満足度 (%)

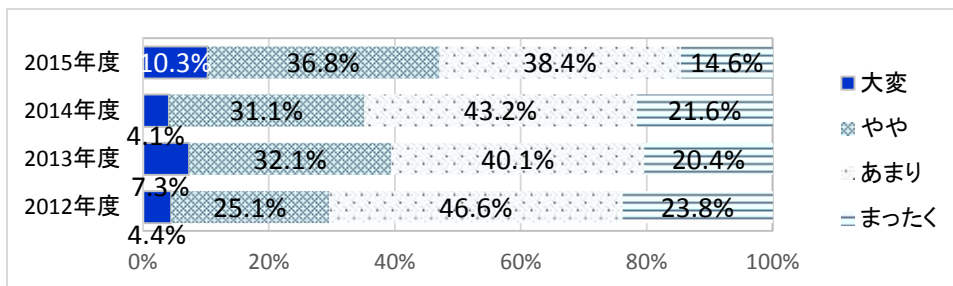


図 5. 6 年度別の「外国人留学生との交流」満足度 (%)

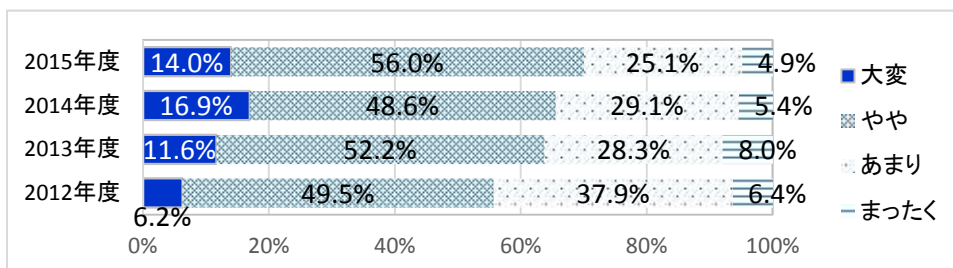


図 5. 7 年度別の「教員とのかかわり」満足度 (%)

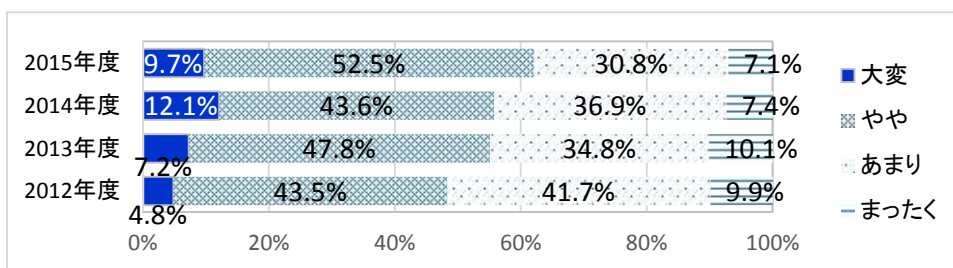


図5. 8 年度別の「職員とのかかわり」満足度 (%)

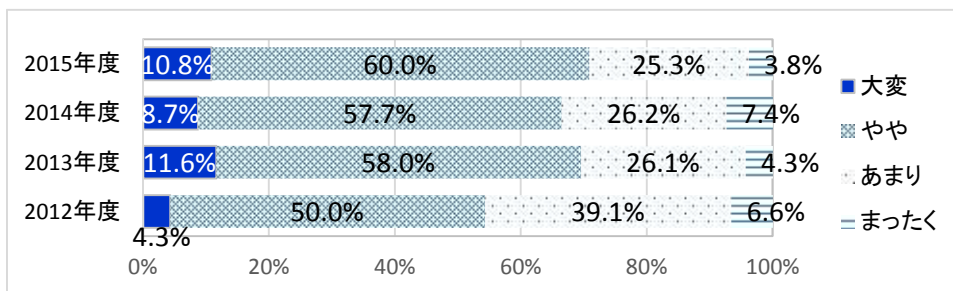


図5. 9 年度別の「学業面への支援・アドバイス」満足度 (%)

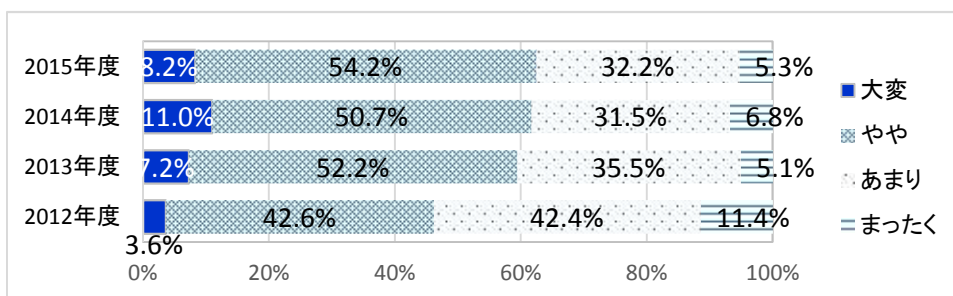


図5. 10 年度別の「生活面への支援・アドバイス」満足度 (%)

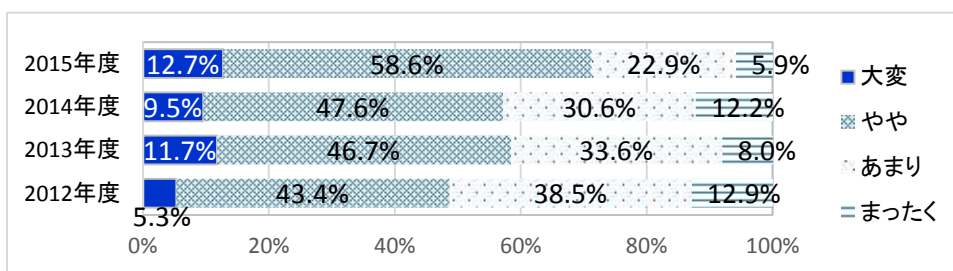


図5. 11 年度別の「留学への支援・アドバイス」満足度 (%)

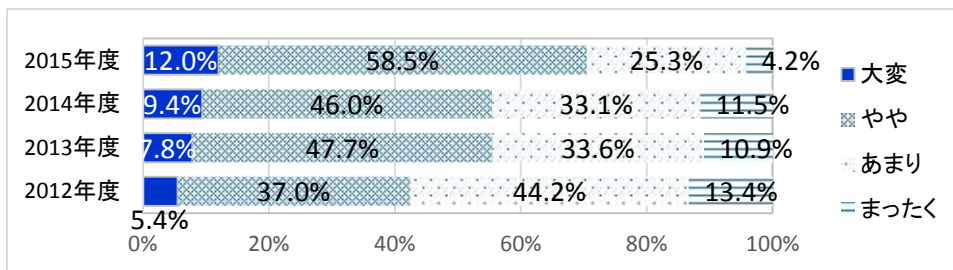


図5. 12 年度別の「就職への支援・アドバイス」満足度 (%)

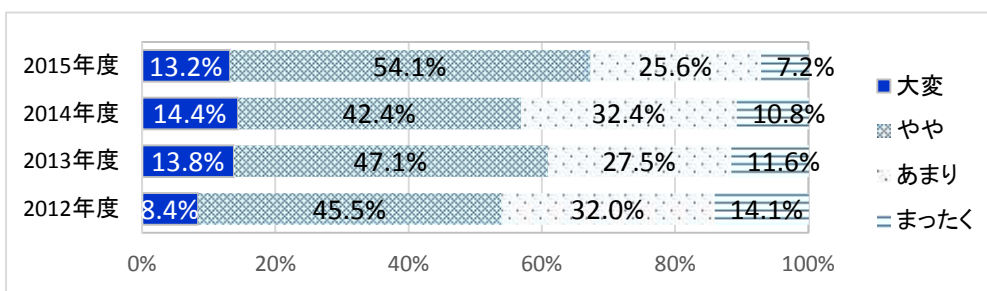


図5. 13 年度別の「課外活動への支援」満足度 (%)

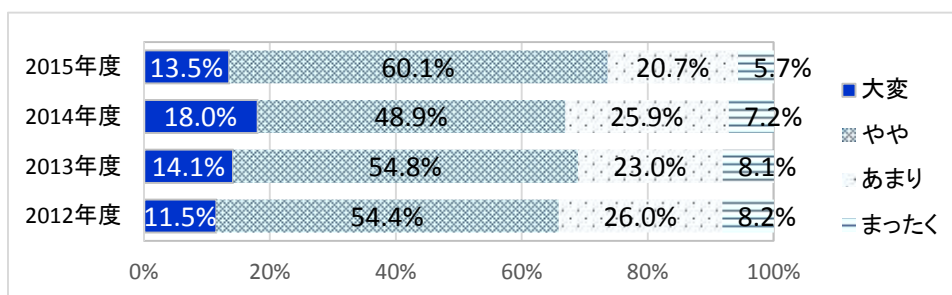


図5. 14 年度別の「奨学金制度」満足度 (%)

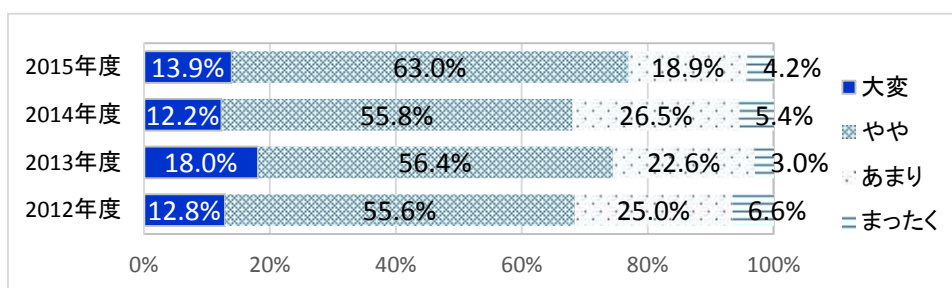


図5. 15 年度別の「弁論大会、ナショナルウィーク等の学科行事」満足度 (%)

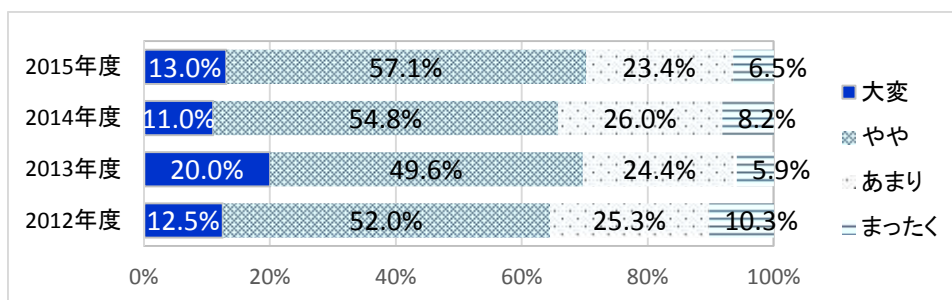


図5. 16 年度別の「大学祭、体育祭等の全学イベント」満足度 (%)

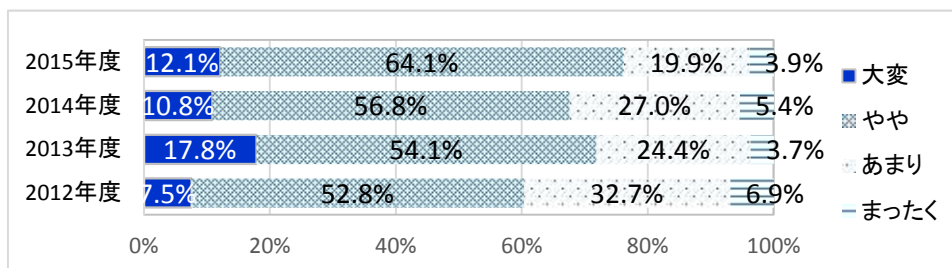


図5. 17 年度別の「講演会」満足度 (%)

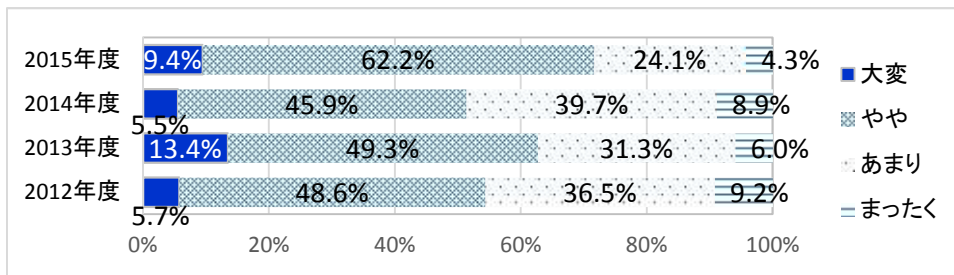


図 5. 1 8 年度別の「ボランティア支援等の社会貢献」満足度 (%)

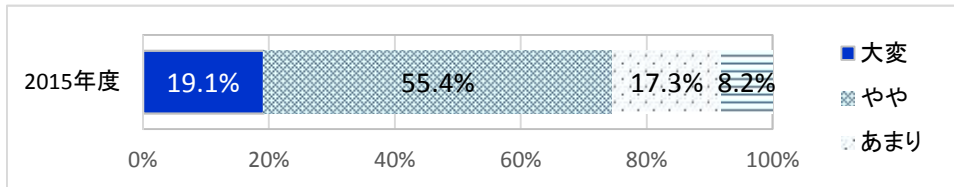


図 5. 1 9 「NINJA のアドバイジング等の学習支援」満足度 (%)
(利用したことがある学生 601 名のみ回答)

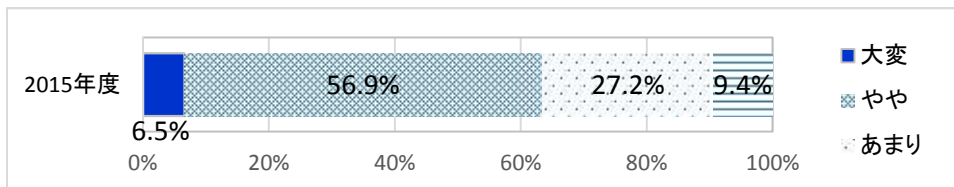


図 5. 1 9 「次世代リーダー育成プログラムの活動」満足度 (%)
(参加学生 383 名のみ回答)

6. 授業外の学習時間について

授業外の学習時間について、2つの質問を行った。図6. 1は、授業外学習時間が確保できているかについての回答結果であり、「十分」「ある程度」という肯定的な回答が5割強であった。

表1は、授業期間中の週当たりの授業以外の学習時間についての回答結果であり、平均は6.41時間であった。最小値が0時間、最大値が80時間であり、個人差が大きいことが分かる。

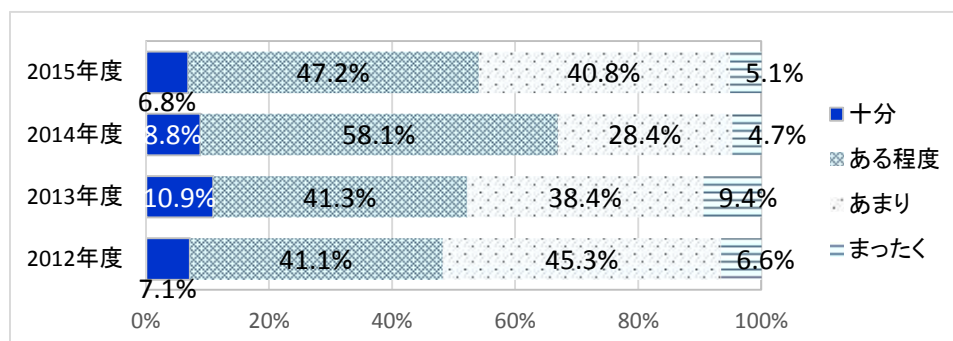


図6. 1 年度別の「授業外学習時間の確保」回答結果 (%)

表1 授業外学習時間 (1,352名回答)

	平均値	標準偏差	最小値	最大値
学習時間	6.41	6.62	0.00	80.00

注) 標準偏差はデータの散らばりを示す

7. 学費・生活費、アルバイトについて

学費・生活費、アルバイトについて、3つの質問を行った。図7. 1は、学費・生活費は確保できているかについての回答結果であり、「十分」「ある程度」という肯定的な回答が8割弱であった。

図7. 2は、現在アルバイトをしているかについての回答結果であり、8割弱の学生がアルバイトをしていることが分かる。

表2は、一週間当たりのアルバイトの平均時間（アルバイトをしている学生のみ回答）についての回答結果であり、平均は17.28時間であった。最小値が0時間、最大値が100時間であり、個人差が大きいことが分かる。

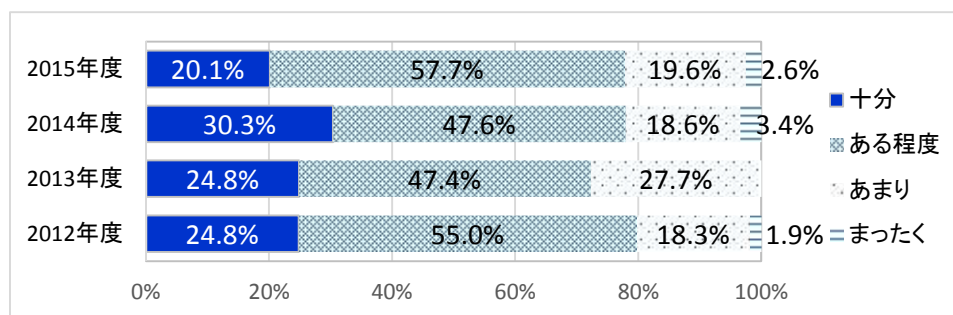


図7. 1 年度別の「学費・生活費の確保」回答結果 (%)

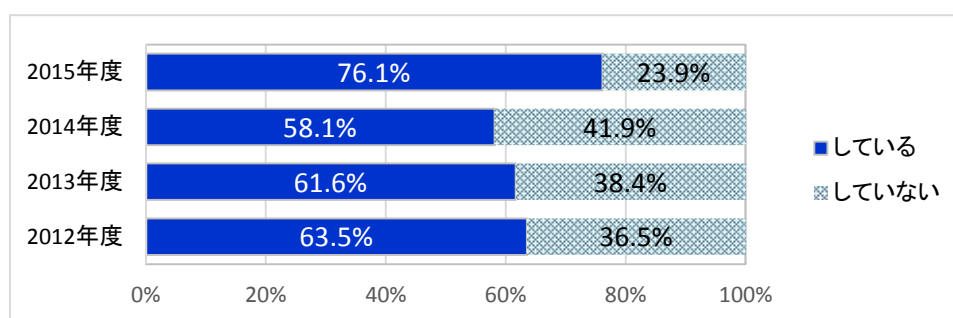


図7. 2 年度別の「アルバイトをしているか」回答結果 (%)

表2 アルバイト時間 (1,215名回答)

	平均値	標準偏差	最小値	最大値
アルバイト時間	17.28	9.72	0.00	100.00

注) 標準偏差はデータの散らばりを示す

8. 留学について

留学について、3つの質問を行った。図8. 1は、在学中に半年以上の海外留学をしたかについての、図8. 2は在学中に留学をしたいかについての回答結果である。これらから、在学中の半年以上の留学経験がないという学生は8割以上ではあるが、7割強の学生が留学を「大変したい」「ややしたい」と思っていることが分かる。

図8. 3は、留学を阻害する要因（複数回答可）についての回答結果である。ここでは、「渡航費や滞在費の不足」の回答割合が最も高かったので、経済的な支援の強化が必要と考えられる。また、「就職活動への影響」の回答割合も高かった。留学をすることで就職活動に影響が出てしまうのではないかと懸念も、留学を阻害する大きな要因と考えられる。

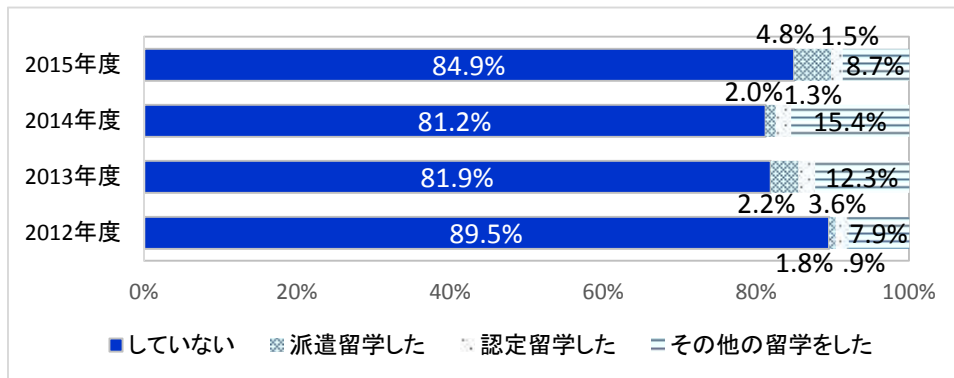


図8. 1 年度別の「半年以上の海外留学をしたか」回答結果 (%)

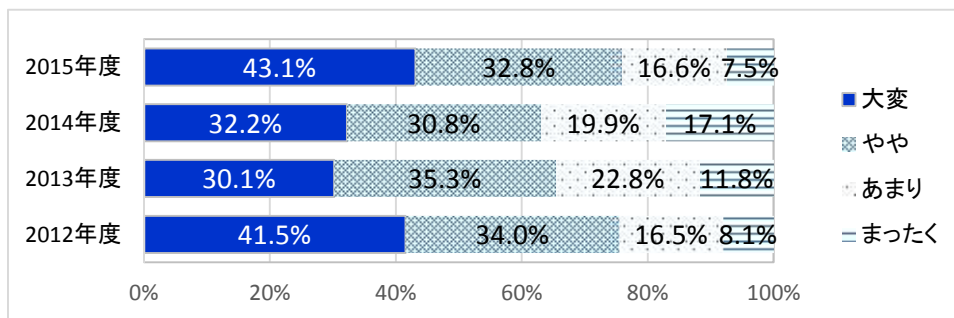


図8. 2 年度別の「在学中に留学をしたいか」回答結果 (%)

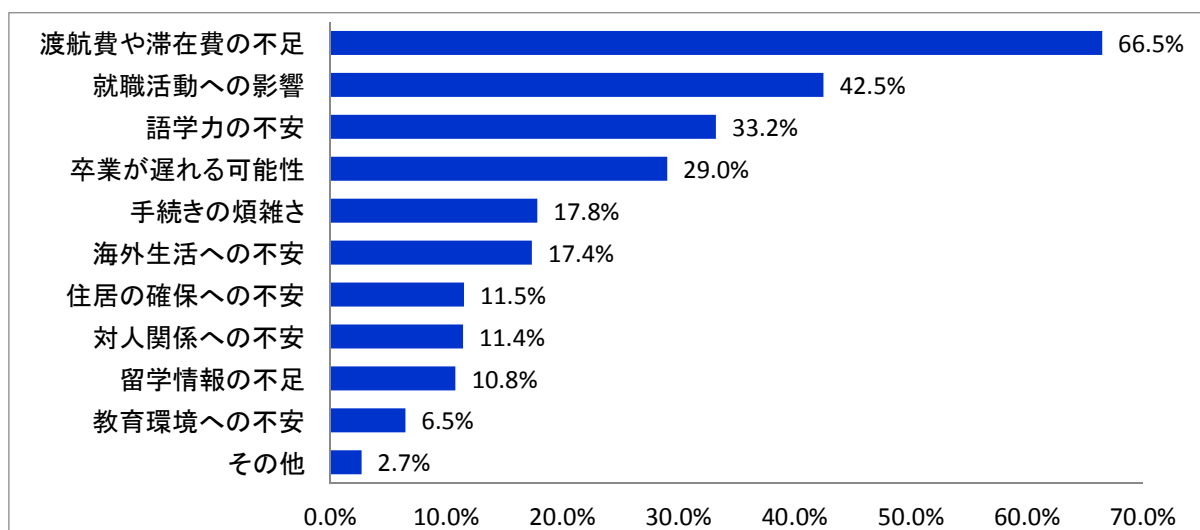


図8. 3 「留学を阻害する要因」回答結果 (%)